



公益財団法人 日本環境協会
エコマーク事務局

2025年度 エコマーク事業 活動レポート

《ダイジェスト》

2026年 6月

本資料は、公表資料「2025年度 エコマーク事業報告」を再編集したものです。
さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、そちらもご高覧ください。
[<https://www.ecomark.jp/pdf/2026/2025houkoku.pdf>]



公益財団法人 日本環境協会
エコマーク事務局

ご挨拶

中東情勢の緊迫化が一部の生産活動にも影を落とし始めるなか、化石資源からの脱却と循環経済への移行は、企業の競争力強化において、ますます重要となっています。さらに、世界的にグリーンウォッシュ（見せかけの環境配慮）への関心が高まるなか、国内でも環境省の「環境表示ガイドライン」が13年ぶりに改定されるなど、適切な情報開示がより重視されるようになっていきます。

こうした潮流においてエコマークは、確かな取り組みを社会へ発信する「信頼の証」として、真価を発揮してまいりました。具体的には、EC連携や、グリーン購入法との連動による市場アクセスの拡大、エコマークのリ・ブランディング、電子申請システムの充実など、時代に即した機能強化を推進しております。

今後も、環境省等の関係機関と一丸となり、持続可能でレジリエントな循環型社会の実現に向けて伴走してまいります。皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

エコマーク事務局長 **山縣 秀則**
公益財団法人日本環境協会 常務理事

2026年3月末のエコマーク認証は57,704商品、会社数1,471社、商品類型数78となり、会社数以外の指標が1年前と比べ増加しています。商品数では工業用繊維製品（1,236商品）、家庭用繊維製品（969商品）、パーソナルコンピュータ（391商品）などの増加が顕著でした。

商品類型（認定基準）は、新たに3つの分野を制定しました。

- 「ケミカルリサイクルプロセスによる廃棄物等の化学原料化プラントおよびその化学製品」
- 「空港ラウンジ」
- 「使用済紙おむつを再生利用した製品」

2026年度に入ってから、4月に「モバイルバッテリー」と「温水器」を制定したほか、間もなく「建築製品（設備）」の新たな分類として「水道用直結加圧形ポンプユニット」の認定基準が制定される見通しです。

認定商品数の推移



ケルヒャー ジャパン株式会社様のケルヒャーRM 764N (ノンリンスECO)、ならびにミッケル化学株式会社様のNEXT トイレウォッシュ中性/アドバンス/ハイパーリムーバーネオの4商品が、清掃用薬剤 (業務用) として、初めてエコマーク認定を取得しました。商品類型「清掃用資材」では2025年1月の基準制定以降、次々と認定商品が誕生しています。

清掃用薬剤(業務用) **10社27製品**
清掃用具(業務用) **1社 1製品** (2026年5月1日現在)

No.167「清掃用資材」認定基準のポイント

【分類A. 清掃用薬剤】 全14項目

- ・GHS分類判定結果に基づく人体および水域環境への配慮
- ・保護具着用の推奨、SDSへの法規制化学物質の記載
- ・手洗い用洗剤の持続可能性に配慮した原料、希釈使用を前提とする濃縮タイプであること(配送時の積載効率の向上) など

【分類B. 清掃用具】 全13項目

- ・再生材料の配合率
- ・交換部品の提供
- ・規制有害物質の不使用など



会社名 :ケルヒャー ジャパン株式会社
認定番号:24 167 001
製品名 :ケルヒャー



会社名 :ミッケル化学株式会社
認定番号:24 167 002
製品名 :NEXT トイレウォッシュ中性



会社名 :ミッケル化学株式会社
認定番号:24 167 003
製品名 :アドバンス



会社名 :ミッケル化学株式会社
認定番号:24 167 004
製品名 :ハイパーリムーバーネオ

関西エアポートリテールサービス株式会社様の「ラウンジオーサカ」が、空港ラウンジとして、初めてエコマーク認定を取得しました。同社は、Lounge KANSAI (空港ラウンジ)、KIX DUTY FREE (小売店舗)、大阪たこやきたこぼん (飲食店)、関西旅日記、神戸旅日記 (小売店舗) の4施設でもエコマーク認定を取得しています。

No.514「空港ラウンジ」認定基準のポイント

- ・6つの評価カテゴリーによるポイント制
- 「環境に配慮した食材と仕入れ」
- 「食品ロス削減とリサイクル」
- 「施設の省エネと節水」
- 「施設備品・設備の環境配慮」
- 「環境を意識した施設運営」
- 「環境コミュニケーション」



認定番号 : 25 514 001

施設名 : ラウンジオーサカ

(施設所在地: 大阪国際空港(伊丹空港))

認定事業者: 関西エアポートリテールサービス(株)

(所在地: 大阪府泉佐野市)

施設概要 : 提携カード会社のゴールドカード等の指定カードと、当日の搭乗内容をご確認できる搭乗券または控え等をお持ちの方は、無料でご利用いただけます。

ポピー製紙株式会社様の「ラブフォレスト」*が、使用済紙おむつを再生利用した製品として、初めてエコマーク認定を取得しました。同製品は、国内初の紙おむつのリサイクルプラントとしてトータルケア・システム株式会社様が2005年から稼働しているラブフォレスト大牟田において、福祉施設や家庭から回収された使用済紙おむつをリサイクルしたパルプ10%と、古紙回収によるリサイクルパルプ90%を配合し、2つのリサイクル技術を融合させたトイレットペーパーです。

*ラブフォレストは、トータルケア・システム株式会社の登録商標です

No.168「使用済紙おむつを再生利用した製品」 認定基準のポイント

全13項目

- 製品中(主要材料の紙またはプラスチック中)の使用済紙おむつ由来のリサイクルパルプ、再生プラスチックの質量割合の基準配合率10%以上(水平リサイクルは5%以上)
- 汚物由来の有害成分(大腸菌)の除去
- 使用済紙おむつ由来のリサイクル材料の配合率のパッケージなどへの表示



会社名 :ポピー製紙株式会社
認定番号:25 168 001
製品名 :ラブフォレスト

エコマーク認定商品・サービスの認知度向上のため、様々な業界セクターの展示会に出展しています。



JAPAN PACK2025(CLOMAパビリオン内)
2025年10月7日(火)～10日(金)
下段は同時開催セミナーの様子

ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2025
2025年11月19日(水)～21日(金)

サーキュラーパートナーシップEXPO2025
2025年12月10日(水)～12日(金)
下段は同時開催セミナーの様子



JANコードで、ECサイトに「エコマーク商品の証」。

JANコードと紐づけられた認定データをウェブ通販事業者様に提供し、ウェブ上でエコマークを自動的に表示できるようにする取り組みを推進しています。

2万件（SKU）を超えるJANコード登録数を持ち、14のECサイトとデータ連携することにより、**圧倒的なマーケット・カバレッジ**を実現しています。

身近なアプリを通じた、データ連携の新たな活用も広がっています。ナビタイムジャパンの「moveco by NAVITIME」では、エコマーク認定ホテル・飲食店など）の地図検索のほか、各施設の具体的なエコな取り組みが閲覧可能となっています。

またエコマークの「ホテル・旅館」認証は、世界大手OTA(インターネット上で取引する旅行会社)が参加するTravalystの「信頼性の高い宿泊施設のサステナビリティ認証制度のリスト」に掲載されており、このリストを参照しているGoogleホテル、Booking.com、Expediaのホテル情報に、エコマーク認定が掲載されています。

 アスクル株式会社	 アズワン株式会社	 アマゾンジャパン合同会社	 株式会社カウネット
 株式会社カカコム	 株式会社ナビタイム	 白鋼株式会社	 プラス株式会社 ジョイントテックスカンパニー
 プラス株式会社 ジョイントテックスカンパニー	 プラス株式会社 ジョイントテックスカンパニー	 プラス株式会社 ジョイントテックスカンパニー	 株式会社仙台銘板
 株式会社MonotaRO	 ロイヤルホームセンター株式会社		

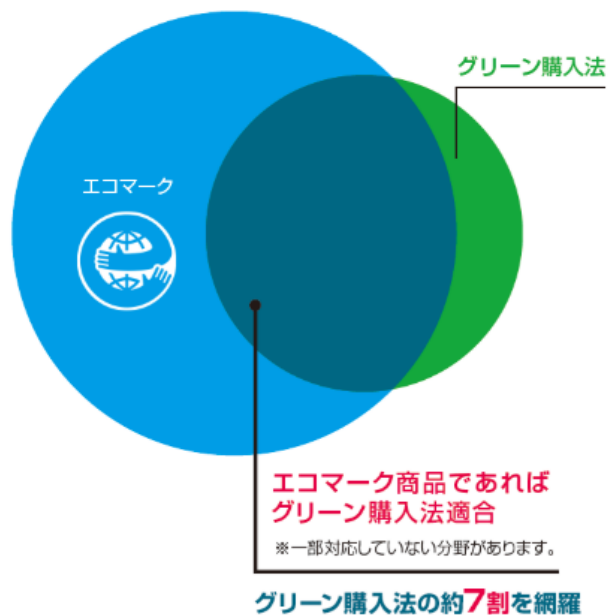
新規連携

グリーン購入法は、国等の公的機関が率先して環境物品等の調達を推進するための法律です。

エコマークでは、グリーン購入法【判断の基準】の同等以上となるようにエコマーク基準を設定していますので、同法の適合可否の判断にエコマークが広く活用されています。

国等が重点的に調達を推進する「特定調達品目」22分野291品目のうち、**約7割**の品目にエコマーク基準が対応しています。そのうち**17分野140品目**（文具類、オフィス家具等、プラスチック製ごみ袋など）は、以下の例のようにエコマークが【判断の基準】となっています。

エコマーク商品・サービスは、グリーン購入法適合



「プラスチック製ごみ袋」の例

【判断の基準】

○次のいずれかの要件を満たすこと。

①次のア若しくはイのいずれかの要件並びにウ及びエの要件を満たすこと。

ア. 植物を原料とするプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものが、プラスチック重量の25%以上使用されていること。

イ. 再生プラスチックがプラスチック重量の40%以上使用されていること。

ウ. 上記ア又はイに関する情報が表示されていること。

エ. プラスチックの添加物として充填剤を使用しないこと。

②エコマーク認定基準を満たすこと又はこれと同等のものであること。

出典：『環境物品等の調達の推進に関する基本方針』令和8年2月(環境省)



「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に向けて積極的に活動している企業・団体等を表彰する「エコマークアワード」を開催。応募・推薦のあった団体から「最優秀賞」1社・「優秀賞」5社が選ばれ、最近の2年間（2024、2025年度）に認定された約500点のエコマーク認定商品の中から「ベストプロダクト」1点が選ばれました。

● 受賞団体

最優秀賞	京王プラザホテル 京王プラザホテルの多角的な環境への取組み～幅広いお客様が集い憩う“広場（プラザ）”として、持続可能な社会の発展に貢献～
優秀賞	有限会社グツツール 感染性廃棄物で取り組むエコ！注射針廃棄容器だからこそできること！
	株式会社シモン 持続可能な社会に貢献する安全靴開発の歩み
	株式会社信州セラミックス 家電業界初、再生プラスチック61%を使用した空気清浄機の取組みと実績
	株式会社トリドールホールディングス エコマークを起点とした環境配慮型店舗『エコKAN店舗』による環境貢献の推進
	日本軌材工業株式会社 業界初！鉄道軌道用品のリサイクルプランをご提案
ベストプロダクト	スマートフォン arrows Alpha F-51F / M08 [認定番号:25 166 001] FCNT合同会社



【最優秀賞】
 2025年11月13日 京王プラザホテル（東京・新宿区）にて
 写真左：
 株式会社京王プラザホテル
 代表取締役社長 若林 克昌 様



【ベストプロダクト】
 2025年12月1日 FCNT合同会社（神奈川・大和市）にて
 写真左：
 FCNT合同会社
 代表取締役社長 桑山 泰明 様

エコマークは、国際標準化機構（ISO）の規格ISO14020（製品環境に関する声明とプログラム・原則と一般要求事項）およびISO14024（環境ラベルおよび宣言・タイプ I 環境ラベル表示・原則および手続き）に則って運営されています。現在、このISO14020シリーズの改訂が行われており、エコマーク事務局は、日本としての意見集約や国際交渉を行う、ISO/TC207/SC3及びSC5対応国内委員会に参画して活動しています。

今回の改訂では、これまで広く用いられ、認知されてきた「**タイプ I・II・III環境ラベル**」の用語が**廃止**されることが決まっており、一般名称として使われることもある「**エコラベル**」の呼称は、**ISO14024（旧タイプ I）準拠のみ**を指すこととされました。

【ISO14020シリーズの改訂動向】

旧	名称(JIS規格名称)	新	名称(規格案は仮訳)	ステータス
ISO 14020	環境ラベル及び宣言－一般原則	ISO 14020	製品環境に関する声明とプログラム －原則と一般要求事項	2022年 発行
ISO 14021	環境ラベル及び宣言－自己宣言による環境主張 (タイプ II 環境ラベル表示)	ISO/DIS 14021	製品の環境に関する声明とプログラム －自己宣言による環境主張	最終国際規格案
ISO14024	環境ラベル及び宣言－タイプ I 環境ラベル表示 －原則及び手順	ISO 14024	製品の環境声明とプログラム －エコラベル	2026年 発行
ISO14025	環境ラベル及び宣言－タイプ III 環境宣言 －原則及び手順	ISO/DIS 14025	製品の環境に関する声明とプログラム －環境製品宣言(EPD)	最終国際規格案

7. エコマーク商品の信頼性確保

エコマークでは、認証スキーム全体を通して、エコマーク商品が継続的に認定基準に適合していることを確認しています。

本年度は、認定後の現地／オンライン監査：65社、試買試験：21ライセンス、認定から一定期間を経過した商品に対する報告徴収・現地監査による再評価：108社（131ライセンス）を実施しました。また、9件の不正使用（またはその疑いがあるもの）を把握し、直ちに調査・是正を行いました。

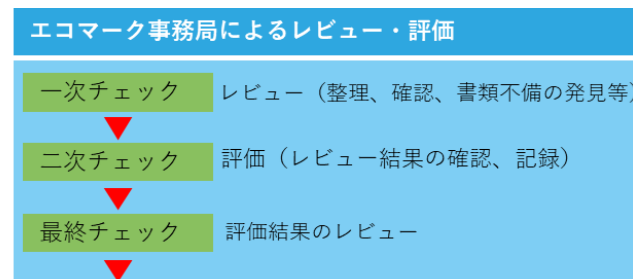
当協会は、ISO/IEC17065の要求事項に適合し、エコマークの認証活動を遂行する十分な能力をもつ信頼できる製品認証機関として独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)認定センター(IAJapan)より認定されています。



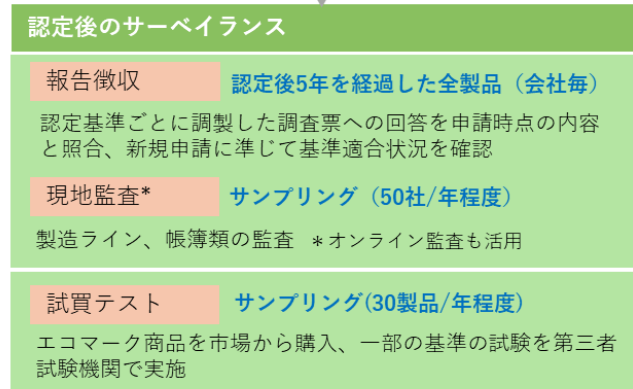
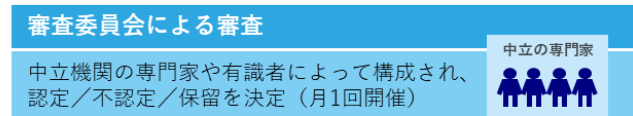
当協会は、国際MRA及びMLA対応のASNITE認定事業者です。
[ASNITE 0135 Product]

新規申請
400~500件/年程度

追加/変更申請
700~800件/年程度
色やサイズ、デザイン等の追加
原材料等の仕様、製造工場、商品名等の変更



追加/変更は、変更部分のレビュー・評価を経て承認/却下を決定



年1回、概要を公表



是正要請 認定の継続（基準の有効期限まで） 認定終了（又は停止）

8. 海外環境ラベル機関との相互認証

相互認証は、各ラベル間の基準を可能な限り共通化し、その共通基準の審査結果を他のラベルの審査に援用できるようにするものです。エコマークは、海外のタイプ環境ラベルを運営する15か国・11機関と相互認証協定（MRA）を締結しています。

2025年9月11～12日には日中韓環境ラベル実務者会議を日本・東京にて開催し、LEDランプの共通基準項目について合意しました。

また本年度は、シンガポールおよびスリランカの環境ラベルとの間で、複写機やプリンタなどの画像機器に関する相互認証の取り組みを大きく前進させました。2025年8月20日には、シンガポール環境協議会との覚書締結により、従来は対象外だった海外市場専用の「派生機」についても相互認証の活用が可能となりました。さらに、2026年2月11日にはNCPCスリランカとの間で共通基準に関する合意書を締結し、同国との相互認証の運用を実質的にスタートさせています。



シンガポールとの覚書締結式
(シンガポール)



日中韓実務者会議（日本・東京）



スリランカとの合意書締結式
(スリランカ・コロンボ)



Try ecologue.



Try ecologue.

公益財団法人 日本環境協会
エコマーク事務局

<https://www.ecomark.jp> ① info@ecomark.jp ② 03-5829-6286

東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル5階